

1 単元名 サッカー

2 運動の特性

(1) 一般的な特性

サッカーは、相対する2チームが、手や腕以外の身体を使ってボールを扱い、シュート、ドリブル、パス、トラッピングなどの技術を生かして組織的に攻防を行い、得点を競い合うところに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

(2) 生徒からみた特性

○チーム力を高め、相手チームに応じた作戦を立ててゲームができ、勝利できるようになるとさらに楽しい運動である。

●動き方が分からなかったり、特定の人だけがボールに触ったりしているとつまらないと感じてしまう運動である。

3 生徒の実態（男子14名 女子20名 計34名） 平成19年7月18日調査

関心・意欲・態度	サッカーの学習は好きですか。 好き34名 嫌い 0名 【好きな理由】 ・チームの人との連携で、試合の展開が変わってくる。 ・チームで戦略を考えてパスやシュートが決まるとうれしいから。
思考・判断	学びたいことはどんなことですか。 ・シュート、ドリブル、パス、トラッピングなどの基本技術。 ・効果的な攻め方や守り方。
運動の技能	サッカー部の生徒が4名いる。男子は比較的、技能の高い生徒が多い。女子はキック、トラッピング、ドリブルなど、基本から学ばなければならぬ実態である。攻防の仕方などを十分に身に付けている生徒は少ない。
知識・理解	ルールやゲームの運営の仕方について、男子の数名以外はよく理解していない。

4 授業の構想

○ めあての持たせ方の工夫

チームのめあての持たせ方の工夫として、「チームのめあての例」を作成した。有効な攻撃と守備をステップ1からステップ3に分け、その中からチームのめあてが選択できるようにした。また、めあてに合った練習方法を、1対1、2対1、2対2、3対2として紹介し、練習に取り組めるようにした。授業の後半では、自分たちでめあてが考えられるようにした。

攻撃のめあて（練習方法）		守備のめあて（練習方法）	
ステップ1	ボールを奪ったら速く攻めよう（1対1）	ステップ1	ボールを奪われたら速く戻って守ろう（1対1）
ステップ2	ゴールへの入り口をつくるためにひろがって攻めよう（2対1）	ステップ2	マンツーマンディフェンスでゴール前に集まって守ろう（2対2）
ステップ3	相手を崩すためポジションチェンジで攻めよう（2対2）	ステップ3	ゾーンディフェンスでバランスよく守ろう（3対2）

個人のめあての持たせ方の工夫としては、「個人スキルアップ確認表」を作成した。学ばせたいスキルを3つ挙げ、スキルを達成するための動きのポイントを、3つずつ例示し、その中から個人技能のめあてが選択できるようにした。

スキル	動きのポイント	スキル	動きのポイント	スキル	動きのポイント
① キック	ボールに向かってやや斜めから近づく	② トラッピング	コントロールしやすい体の向きにする	③ ドリブル	顔を上げ視野を広くする
	蹴りやすい位置に立ち足を踏み込む		ボールの当たる瞬間に力を抜く		ひざを柔らかく使いボールをタッチする
	足首を固定し面の中心でける		次に蹴りやすい所にボールを置く		足の面に広く当て押し出しながら進む

もう1つの工夫として、単元の後半で「チームのよさ一覧表」を作成した。他のチームが見つけたよさを毎時間ごとに蓄積して、一覧表にまとめ提示することで、自チームよさを生かしてめあてが立てられるようにした。

○ 仲間との関わり方の工夫

仲間との関わり方の工夫として、2人組のペアをつくり、感覚づくりの運動や個人技能の練習で動きのポイントを教え合えるようにした。また、チームのめあてに合った「アドバイス資料」を作成して、試合中に効果的なアドバイスができるようにした。

	攻撃のアドバイス	守備のアドバイス
ステップ1	前に走って！ 上がって！ ポストに入って！ 速攻！ 攻撃して！	速く戻って！ シュート打たせないで！ ボールをカット！
ステップ2	ひろがって！ 外に出して！ 固まらないで！ 横でもらって！	マークついて！ マーク確認して！ 離さないで！ マークみて！
ステップ3	クロスして入って！ 相手を引き付けて！ スペースをつくって！	バランスよくついて！ スペースを与えないで！ 入らせないで！

もう1つの工夫として、「チーム分析ボード」を作成した。記入欄を、①自チームのよさ、②相手チームのよさ、③自チームの改善点とし、アドバイスタイムで話し合い、作戦が立てられるようにした。「チーム学習カード」の反省欄も、同様の項目で振り返り、成果発表の場でお互いのチームのよさを認め合えるようにした。

5 単元の目標と評価

(1) 単元の目標

- 練習やゲームで教え合ったり励ましあったりするとともに、チームにおける自分の役割を果たそうとする。 (関心・意欲・態度)
- チームや自分の能力に適した課題を設定するとともに、解決するための練習方法を選んだり見付けたりすることができるようにする。 (思考・判断)
- チームや自分の課題に応じて技能を発揮するとともに、相手との攻防に合った作戦で練習やゲームをすることができるようにする。 (技能)
- ルールや審判法を言ったり書いたりするとともに、練習やゲームの運営の仕方について説明することができるようにする。 (知識・理解)

(2) 単元計画 (12時間扱い)

1	2	3	4	5	6	7	8	⑨本時	10	11	12
オリエンテーション		ねらい1				ねらい2					まとめのゲーム
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 今もっている技能を生かしてゲームを楽しもう。 </div> 1 ウォーミングアップ 2 個人, チームカード記入 3 練習 4 ゲーム 5 個人, チームカード記入 6 成果発表, 教師助言				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> チームのよさを生かしながら, 対戦チームに応じた攻守を工夫してゲームを楽しもう。 </div> 1 ウォーミングアップ 2 チームカード記入 3 ゲーム 4 チームカード記入 5 成果発表, 教師助言					

(3) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
①練習やゲームで、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 ②練習やゲームで、チームにおける自分の役割を <u>進んで</u> 果たそうとする。	③チームや自分の能力に適した課題を <u>適切に</u> 設定している。 ④課題を解決するための練習方法を資料を参考にして選んだり、見付けたりしている。	⑤チームや自分の課題に応じて技能を <u>十分に</u> 発揮することができる。 ⑥相手との攻防に合った作戦で <u>指示を</u> しながら練習やゲームをすることができる。	⑦ルールや審判法を <u>詳しく</u> 言ったり書いたりしている。 ⑧練習やゲームの運営の仕方について、 <u>積極的に</u> 説明している。

(4) 評価計画

項目 \ 時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
関心・意欲・態度			①	①			②	②				
思考・判断				③	③			④	④	④		
技能					⑤	⑤			⑥	⑥	⑥	⑥
知識・理解	⑦	⑦	⑧				⑧					

(5) 準備・資料

サッカーゴール2, サッカーネット2, GK用人形4, 課題板(1時間の流れ, ルールの工夫, めあての例, アドバイス資料), ホワイトボード(めあて確認表, 作戦板) ボール30, ゼッケン4色×10, チーム分析ボード4, 体育ファイルかご4, GK用グローブ4

(6) 単元の学習の展開

過程	学習のねらいと活動	指導と評価 (◎は評価)												
はじめ (2)	<p>オリエンテーション</p> <p>第1時</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーミングアップを行う。 個人スキルアップ練習を行う。 試しのゲームを行う。 <p>第2時</p> <ul style="list-style-type: none"> グループを知る。 ルールの確認をする。 学習の進め方の確認をする。 準備物の分担を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主運動につながるような, 特性に応じたウォーミングアップや感覚づくりの運動を紹介する。 ○「個人スキルアップ確認表」を配布し, 基本的なスキルを手本を見せながら説明する。 ○「サッカーチームファイル」を配布し, ルールや学習の進め方, 準備物の分担等を説明する。 ◎⑦ルールや審判法を言ったり書いたりしたか。「知識・理解」(ワークシート) 												
なか (4)	<p>ねらい1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>今もっている技能を生かしてゲームを楽しもう。</p> </div> <p>1 ウォーミングアップを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 川渡りおに 感覚づくり(ボールタップ, ふりこボール) <p>2 個人, チームカードを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人技能のめあてを決定する。 <ul style="list-style-type: none"> ①キック, ②トラッピング, ③ドリブル チームのめあてを選択する。 <ul style="list-style-type: none"> 第3時 ステップ1 攻撃・守備 第4時 ステップ2 攻撃 第5時 ステップ2 守備・3 攻撃 第6時 ステップ3 守備 <p>3 練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人スキルアップ練習を行う。 チーム練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 第3時 (1対1) 第4時 (2対1) 第5時 (2対2) 第6時 (3対2) <p>4 試合【4対4 (5対5)】を行う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">前半</td> <td style="width: 25%;">A-B</td> <td style="width: 25%;">C-D</td> <td style="width: 25%;">5分</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">アドバイスタイム</td> <td style="text-align: center;">3分</td> </tr> <tr> <td>後半</td> <td>B-A</td> <td>D-C</td> <td>5分</td> </tr> </table> <p>≪工夫ルール≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールド 男子30m×50m 女子25m×45m ・得点 サッカー部は0.5点 ・スローイン キックイン ・GK 壁人形 <p>5 チーム, 個人カードを記入する。</p> <p>6 成果発表, 教師助言を行う。</p>	前半	A-B	C-D	5分	アドバイスタイム			3分	後半	B-A	D-C	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○川渡りおにでは, サイドステップやバックステップ, フェイント等を使って動くように声をかける。 ○感覚づくりの運動では, 2人組で互いに数を数え合いながら, 膝をやわらかく顔を上げてできるようにする。 ○「個人スキルアップ確認表」を参考にして, 個人技能のめあてが選択できるようにする。 ○「チーム学習カード」を活用して, ステップ1~3のめあてと練習方法が選択できるようにする。 ◎③チームや自分の能力に適した課題を設定したか。「思考・判断」(学習カード) ○ゴールを奪うための攻め方や, ボールを奪うための守り方ができるように, 状況に応じて練習を止めて説明する。 ◎①練習やゲームで, 教え合ったり, 励まし合ったりできたか。「関心・意欲・態度」(観察) ○整列や挨拶等がスムーズにいくように, リーダーを生かしながら進めていく。 ◎⑧練習やゲームの運営の仕方について, 説明したか。「知識・理解」(観察) ○アドバイスタイムでは「チーム分析ボード」を活用して, 自チームのよさ, 相手チームのよさ, 自チームの改善点等の項目で話し合い作戦が立てられるようにする。 ◎⑤チームや自分の課題に応じて技能を発揮することができたか。「技能」(観察) ○「チーム学習カード」の反省欄を, チーム分析ボードと同様の項目で振り返り, 成果発表の場でお互いのチームのよさを認め合い, 次時に向けて適切に助言する。
前半	A-B	C-D	5分											
アドバイスタイム			3分											
後半	B-A	D-C	5分											

なか (5) 本時は第9時	<p>ねらい2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>チームのよさを生かしながら、対戦チームに応じた攻守を工夫してゲームを楽しもう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> ウォーミングアップを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 感覚づくりの運動（ボールタップ、ふりこボール） 個人スキルアップ練習を行う。 チームカードを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> チームのめあてと練習方法を決定する。 ポジションや作戦を決定する。 試合【6対6（6対6）】を行う。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">前半</td> <td style="width: 15%;">A-B</td> <td style="width: 15%;">C-D</td> <td style="width: 15%;">8分</td> </tr> <tr> <td colspan="3">アドバイスタイム・練習</td> <td>3分・5分</td> </tr> <tr> <td>後半</td> <td>B-A</td> <td>D-C</td> <td>8分</td> </tr> </table> <p>《くふうルール》</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールド 男子30m×50m 女子25m×45m 得点 サッカー部は0.5点 スローイン 男子スローイン 女子キックイン GK GKあり チームカードを記入する。 成果発表，教師助言を行う。 	前半	A-B	C-D	8分	アドバイスタイム・練習			3分・5分	後半	B-A	D-C	8分	<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて確認表」で自分とペアの個人技能のめあてや動きのポイントを確認させておく。 ○感覚づくりの運動では、膝をやわらかく顔を上げて、移動しながらできるようにする。 ○個人スキルアップ練習では、ペアの仲間と動きのポイントを教え合えるようにする。 ○「チームのよさ一覧表」を参考にして、チームのめあてが考えられるようにする。 ○「作戦資料」を参考にしながら、対戦チームに応じたポジションや作戦が考えられるようにする。 ◎④課題を解決するための練習方法を選んだり見付けたりしたか。 「思考・判断」（学習カード） ○整列や挨拶等がスムーズにいくように、リーダーを生かしながら進めていく。 ◎⑧練習やゲームの運営の仕方について、説明したか。「知識・理解」（観察） ○チームのめあてに合った「アドバイス資料」を参考にしながら、チーム内でアドバイスができるようにする。 ◎②練習やゲームで、チームにおける自分の役割を果たそうとしたか。 「関心・意欲・態度」（観察） ○アドバイスタイムでは「チーム分析ボード」を活用して話し合い、チームの作戦に合った練習ができるように援助する。 ◎⑥相手との攻防に合った作戦で練習やゲームをすることができたか。「技能」（観察） ○カード記入や成果発表では、チームの作戦が達成できていたり、達成に向けてアドバイスし合ったりできたチームを称賛して、次時に向けて適切に助言する。
前半	A-B	C-D	8分											
アドバイスタイム・練習			3分・5分											
後半	B-A	D-C	8分											
まとめ (1)	<p>まとめのゲーム</p> <ol style="list-style-type: none"> ウォーミングアップを行う。 チームでポジションを決め作戦を話し合う。 試合【8対8】を行う。 《工夫ルール》 <ul style="list-style-type: none"> フィールド ハーフコート 得点 サッカー部は0.5点 スローイン 男子スローイン 女子キックイン GK GKあり 学習全体を振り返る。 成果発表，教師助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各チームのリーダーを中心に、コート作成や審判、ウォーミングアップ、練習等が自主的にできるようにする。 ○チームのよさを生かして、ポジションや作戦が決められるようにする。 ◎⑥相手との攻防に合った作戦で練習やゲームをすることができたか。「技能」（観察） ○学習全体を振り返り、学習の成果を称え合う。 												

6 本時の学習（9／12時）

(1) 本時の目標

- ・課題を解決するための練習方法を選んだり，見付けたりしている。（思考・判断）
- ・相手との攻防に合った作戦で練習やゲームをすることができる。（技能）

(2) 準備・資料

サッカーゴール2，サッカーネット2，課題板（1時間の流れ，ルール工夫，めあての例，アドバイス資料），ホワイトボード（めあて確認表，作戦板）ボール30，ゼッケン4色×10，チーム分析ボード4，体育ファイルかご4，GK用グローブ4

(3) 展開

※主題に迫る手だて

配時	学習のねらいと活動	指導上の留意点・評価（評価は◎）												
1	1 集合，あいさつをする。 ・健康観察をする。	・健康観察を行うとともに，見学者には学習に参加できるように役割を与える。												
5	2 ウォーミングアップを行う。 ・感覚づくりの運動（ボールタップ，ふりこボール） ・個人スキルアップ練習	・感覚づくりの運動では，移動しながら周りを観てできるようにする。 ・個人スキルアップ練習では，ペアの仲間と動きのポイントを教え合うよう声をかける。												
5	3 本時の学習のねらいを確認する。 チームのよさを生かしながら，対戦チームに応じた攻守を工夫してゲームを楽しもう。 ・チームのめあて，練習方法，ポジション，作戦を決定する。 ・チーム練習を行う。	※「チームのよさ（他チームから見つけてもらったよさ）一覧表」を参考にして，チームのめあてが考えられるようにする。 ・「作戦資料」を参考にして，対戦チームに応じたポジションや作戦を工夫させる。												
28	4 試合【6対6（6対6）】を行う。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">前半</td> <td style="width: 25%;">A－B</td> <td style="width: 25%;">C－D</td> <td style="width: 25%;">8分</td> </tr> <tr> <td colspan="3">アドバイスタイム・練習</td> <td>3分・5分</td> </tr> <tr> <td>後半</td> <td>B－A</td> <td>D－C</td> <td>8分</td> </tr> </table> <p>《工夫ルール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールド 男子30m×50m 女子25m×45m ・得点 サッカー部は0.5点 ・スローイン 男子スローイン 女子キックイン ・GK GKあり 	前半	A－B	C－D	8分	アドバイスタイム・練習			3分・5分	後半	B－A	D－C	8分	◎④課題を解決するための練習方法を選んだり，見付けたりしたか。 「思考・判断」（学習カード） ・練習方法がうまく選べないチームには，チームのよさ一覧表で，チームのよさに気づかせて，効果的な練習を紹介する。 ・チームのめあてに合った「アドバイス資料」を参考にして，試合中に効果的なアドバイスができるよう助言する。 ※アドバイスタイムでは「チーム分析ボード」を活用して話し合い，チームの改善点や練習方法が見つけれられるようにする。 ・それぞれのチームの改善点を把握した上で，練習の様子を観察して，必要に応じて練習を止めてアドバイスする。
前半	A－B	C－D	8分											
アドバイスタイム・練習			3分・5分											
後半	B－A	D－C	8分											
10	5 整理運動，反省を行う。 ・チームで話し合い，学習カードを記入する。 ・成果を発表し合い，教師の助言を聞く。	◎⑥相手との攻防に合った作戦で練習やゲームをすることができたか。 「技能」（観察） ・作戦が立てられないチームには，チーム分析ボードでチームのよさに気づかせて，効果的な助言を行う。 ・チームでの話し合いや学習カードの記入では，作戦が達成できたチームに，その理由を問いかけ，適切に助言または称賛する。 ・各チームの発表をもとにして，作戦板を使って，本時の授業のポイントを説明する。												
1	6 後片付けの確認，あいさつをする。	・健康観察を行い，後片付けの指示をする。												